

第1回昭島市水道事業基本計画策定委員会議事録（要点録）

平成29年6月21日

午後7時～

水道部会議室

出席者

委員)

元国立保健医療科学院：伊藤氏

一橋大学大学院社会学研究科：大瀧氏

OAG 税理士法人：梅澤氏

昭島市自治会連合会：横山氏

昭島市消費生活者連絡会：山下氏

昭島ガス株式会社：井上氏

昭島市商工会：清水氏

公募市民：蔵方氏

公募市民：高橋氏

市)

丹羽部長、沖倉業務課長、南澤工務課長、野口庶務係長、高瀬料金係長、

小林工務係長、鎌田給水係長、羽生浄水係長、渡邊水道施設計画担当係長、高玉

受託者（東京設計事務所）

馬場、竹内

1. 委員及び正副委員長の選任について

委員長は伊藤氏、副委員長は大瀧氏が選任された。

2. 1. 第二次昭島市水道事業基本計画について

【資料1】に沿って説明し、ご意見を頂いた。指摘事項は以下の通り。

- ・ 平成7年度の認可時と比較して、平成26年度の認可では計画給水人口が増加したにもかかわらず計画給水量が減少しているのはなぜか。(伊藤委員長)
⇒節水機器の普及や市民の節水意識の向上などもあり、実績給水量は増加していない。
そのため、平成26年度認可時に計画給水量を実情に合ったものに調整した。(事務局)
- ・ 水使用の用途はどのようになっているか。また、原単位はいくつか。(大瀧副委員長)
⇒認可では、生活用原単位は255L/人・日、業務営業用水6000m³/日で推計した。(事務局)
- ・ 昭島市内の企業が使用している水はどこに分類されているのか。(高橋委員)
⇒水道から購入している企業もあれば、自家用井戸を使用している企業もある。(事務局)

- ・ 自家用井戸も含めた全体の地下水使用量は把握していないのか。昭島市の水源は地下水源であり、地盤沈下が懸念される中、自家用井戸から取水されている不明分はどのように管理しているのか。(高橋委員)
- ⇒市や都の環境部局が把握している。(事務局)
- ・ 基本計画の位置づけについて、【資料1】P1で示しているが、経営戦略との関連性、位置づけはどのようなものか。(梅澤委員)
- ⇒本計画は経営戦略を兼ねるものである。(事務局)
- ・ 経営戦略であれば財政見通しの把握も必要となるが、基本計画で検討されるという理解でよいか。(伊藤委員長)
- ⇒そのように予定している。(事務局)
- ・ 資料内で明記されていないが、パブリックコメント案が基本計画の素案という理解で正しいか。(伊藤委員長)
- ⇒そのようなご理解で正しい。(事務局)

2.2. 市民意識アンケート調査票(案)について

【資料2】に沿って説明し、ご意見を頂いた。指摘事項は以下の通り。

- ・ アンケートの最終版確定はいつになるのか。(伊藤委員長)
- ⇒本委員会から1週間後を目処に、委員からご意見を頂き、その後事務局で協議し決定する。(事務局)
- ・ 事業計画のどの項目に反映させるのか説明がないと、このアンケート(案)に過不足がないかを判断できない。(大瀧副委員長)
- ⇒次回委員会資料の中で提示させていただく。(事務局)
- ・ 設問10で、配水池、基幹管路、耐震適合率などの説明がないと、一般市民はわからないのではないか。(大瀧副委員長)
- ⇒説明を追加させていただく。(事務局)
- ・ 設問10で、施設整備にかかる費用についての考え方を聞いているが、整備全般に関することなの耐震化に限定した話なのか明確になるよう表現を修正してほしい。(大瀧副委員長)
- ・ 設問1, 2など、選択肢に「やや」があり5択となっているものと、「やや」がなく3択となっているものがある。どちらかに統一したほうが良い。(大瀧副委員長)
- ・ 設問3について、市民が地下水の使用について認知しているかを尋ねるためなのか、それとも地下水の使用をアピールのための設問なのか、どちらか。認知具合を調査するならば、水源は何を使用しているかを尋ねる設問にした方が良い。(大瀧副委員長)
- ⇒設問3は、地下水の使用をアピールのための設問である。その他のご指摘事項については事務局で検討したい。(事務局)

- ・ 設問6について、水の備蓄量は尋ねないのか。(大瀧副委員長)
⇒設問の追加を検討する。(事務局)
- ・ 設問5について、水道水をお茶にして飲む利用者は、どの選択肢を選べばよいか判断できないのではないか。(大瀧副委員長)
⇒そのご意見については、過去にもご指摘があった。意図としては、水道水をそのまま飲めるかということを知ること、水道水への信頼性について聞きたい。お茶・コーヒーを選択肢に入れてしまうとそれに○を付ける人が多いので、あまり入れたくない。(事務局)
⇒設問に「お茶・コーヒーを除く」と但し書きをすればよいのではないか。(伊藤委員長)
⇒ご意見を反映し、修正させていただく。(事務局)
- ・ 設問2は、「安全」とは何か、という部分が共有されていないがために、選択肢を選ぶにくい。(高橋委員)
⇒「安全性」というとその定義が必要になる。市民が水道に対してどのような意識を持っているかわかればよいのなら、「あなたは昭島の水を安全だと思いますか？」と書けばよい。(伊藤委員長)
⇒ご意見を反映し、修正させていただく。(事務局)
- ・ 設問13選択肢4の「サービス」が具体的にどんなものかイメージがわからない。(横山委員)
⇒選択肢を検討させていただく。(事務局)
- ・ 設問10青枠内4行目の、「今後」の意味が分からない。また、この設問全体について、説明が遠まわしだと感じる。現在のペースで耐震化を進めていくか、もっと早く進めるかということを知りたいのか。(高橋委員)
⇒その通りである。文章表現を検討させていただく。(事務局)
- ・ 設問12について、水道料金を使用して整備するか、税金で整備するかを市民に聞きたいのか。(梅澤委員)
- ・ 設問10、11では、耐震化を進めるにあたって水道料金の使用に関する許容範囲について尋ねているが、設問12で流れが変わっていることに気づきにくい。(伊藤委員長)
- ・ 税金でも整備できるが、水道料金でやるべきか？と聞いた方がよい。(高橋委員)
⇒その通りである。設問の聞き方、文章表現を検討させていただく。(事務局)
- ・ アンケート数は2,000であるが、十分であるか。(高橋委員)
⇒前回基本計画の時は1,000であったが、十分と判断した。今回はそれより多いので十分と判断している。(事務局)
- ・ 設問9が択一になっている理由を教えてください。設問13では複数回答だが、どう区別しているのか。(大瀧副委員長)
⇒市民が最も求めていることを聞きたいので、択一にした。(事務局)

- ・ 設問16は例に引っ張られてしまうのではないか。(伊藤委員長、大瀧副委員長)
⇒事務局内で検討し、必要ないと判断すれば削除する。(事務局)
- ・ アンケート（案）について他にご意見がある場合は、メールで頂きたい。(伊藤委員長)

3. その他

- ・ ご意見等の募集期間は、6月28日までとし、事務局へメールで送っていただく。また、施設見学希望者がいる場合も同様にメールでご連絡いただく。
- ・ 次回の委員会は8月24日～9月4日までの期間で予定する。

以上